

1.

6月の山口に広がる田園風景

山口吉敷の里 と 油谷半島の棚田 6. 1. & 2.

田圃に水がはいて、今しか見られぬ晴らしい田園風景が広がっています

梅雨時で 曇り空と青空がめまぐるしく変わる6月の top に半年振りの山口・美祢へでかけました

野山には柔らかな緑が溢れ、田圃に水が入って、周りの自然が映って素晴らしい田園風景が広がっていました。

そんな 6月 山口で出会った田園風景をお届けします

1. 田圃に周りの自然を映しこむ山口吉敷の自然 山口市吉敷 2006. 6. 1.



園光る6月 山口市吉敷の郷 陶房景月より 2006. 6. 1.



園光る6月 山口市吉敷の郷 陶房景月 2006. 6. 1.



園光る6月 陶房景月 2006. 6. 1.

久しぶりに訪れた山口鳳凰山の麓丘陵地にある萩焼の田中さんの庭から見る素晴らしい田園風景

この時期にしか 見られない景色である。

また 田中さんのギャラリーには 素朴な「萩」の作品群と共に洗練された透明感溢れる磁器群が加わっていた

周りの自然に呼応したギャラリーの新しい作品群とともに せせらぎをほとぼしる流れを感じました

田中さんのホームページが更新され、新しい2006年初夏の作品群があり

萩焼や陶芸に興味のある方 是非どうぞ

◆ 萩焼窯元 陶房葉月 田中講平さんのホームページ

<http://www.k2.dion.ne.jp/~hazuki/>

2. 日本海に面した油谷半島の棚田田園

山口県油谷町 2006. 6. 2.



6月2日 昨日山口吉敷の田中さんの庭から見た吉敷の田園風景が印象的で、家内が棚田が見たいという。

もう長いこと訪ねていないが、日本海側長門市の西の油谷半島に素晴らしい棚田があるのを思い出して出かけました。

油谷半島は日本海側にちょっと角を出したリアス式海岸の半島で日本海側には急な崖が続く。

この崖の上の丘陵地の急斜面を切り開いて畑とした棚田があり、日本海から吹き上げる風による霧が走るのですが、霧が晴れたとき、棚田と真っ青な日本海のコントラストが素晴らしく、まだ有名でなかった時代に一人よくかよったところです。日本海に面した棚田では 今日は霧が濃い、真っ青な日本海をバックにはできませんでしたが、やはり田に水が入って素晴らしい。

この油谷半島の棚田は日本棚田百選に入って すっかり有名になっていて、棚田マップが作られ、一番高いところにある「東後畑の棚田」は欲整備され、案内板・駐車場まで作られていました。

ちょうど この棚田に水が張られる 6 月にはいかがが日本海を東に上ってゆく頃で、沖にいきり火が点々と続き棚田とそのいきり火の夜がいいという。

そんな写真もパネルになっていて、日曜日にはアマチュアカメラマンの列が出来るといふ。

本当に変わったものであるが、自然の美しさは変わらない。

東後畑の棚田に行ったときには、霧が一番濃い時で日本海はほとんど見えずでしたが、棚田の畦にアザミが桃色の花を付け、それを前景に素晴らしい棚田が広がっていました。

